NEXT ENGINE

2023年最新版！！

知らなきゃ損？

国内発送

物流のいまとこれから

— はじめに

コロナ禍をきっかけに消費者のライフスタイルが変化し、オンラインでの商品購入がますます一般的になる中、EC事業者は顧客の期待に応え、効率的かつ信頼性の高い物流戦略を構築することが不可欠となっています。

本ホワイトペーパーでは、EC事業者の皆様に向けて、物流の最新動向とこれからの展望について掘り下げていきます。

© 2024 NE inc.

目次

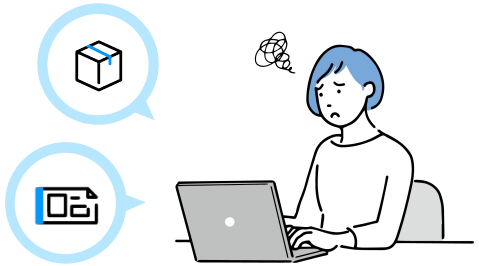
物流を重視すべき理由 4
EC事業における物流の特徴 10
物流を取り巻く最新状況 17
ネクストエンジンの紹介 27

物流を重視すべき理由

なぜEC事業者が『物流』を重視すべきなのか

EC事業において、**特にポイントになるのが物流**です。
その理由には、主に3点が挙げられます

理由1



注文状況に業務量が左右されやすい

理由2

スピード感が顧客満足度に直結する

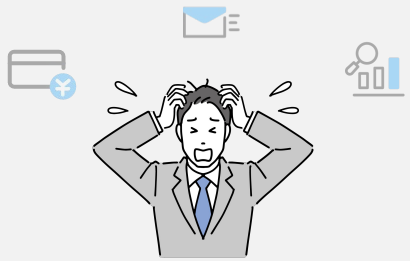
理由3

市場規模の成長と比例し物流費用が増加

© 2024 NE inc.

理由❶ 注文状況に業務量が左右されやすい

受注量の増減と、業務量が比例するので、
計画的な作業時間の確保や、他業務との調整に苦労が少なくありません



物流業務は、日常的な
業務負担が大きくなりやすい

セールなどの際は、短時間で
より多くの配送対応が必要

その結果…

戦略立案や分析などの
コア業務に集中できず、
売上が伸び悩んでしまう…

ポイント

事業成長と業務負担が比例しない状況が必要

© 2024 NE inc.

理由❷スピード感が顧客満足度に直結する

ご購入者様は“いつ届くのか？”と商品到着までの時間を気にされ、
スピード感や配送状況を把握したい気持ちを誰もがお持ちです

近年のECでは…

これらの条件が当たり前に

- 即日配達
- 翌日発送
- 安心で確実に届く

出荷～配送～受取まで
常に状況を把握できるサービスが
一般的になっている

EC物流に注力すると…

→

売上アップや顧客満足度の向上に
大きくつながる！

EC物流に注力しないと…

→

- 物流の安定性水準をクリアできないと
  購入をストップしてしまう…
- 口コミ評価で物流面への不満が増える…

ポイント

ご購入者様に安心を提供できる仕組みが必要

© 2024 NE inc.

理由❸ 市場規模の成長と比例し物流費用が増加

経済産業省のデータによると、ECの市場規模は右肩上がりとなっています。
インターネットショッピングを利用する世帯割合は、2020年3月以降に急速に増加。
その後も、二人以上の世帯の約半数以上が利用する状況が続いています。

世界規模で見ても
EC市場の売上高は上昇

2021年の世界でのEC売上高は
542.0兆円（前年比19.5%増）

国別ランキング

1位 中国 178.4兆円
2位 米国101.7兆円
3位 日本28.0兆円
4位 ドイツ17.2兆円
5位 英国16.6兆円
6位 韓国13.7兆円

消費者にとってEC利用は当たり前の文化に

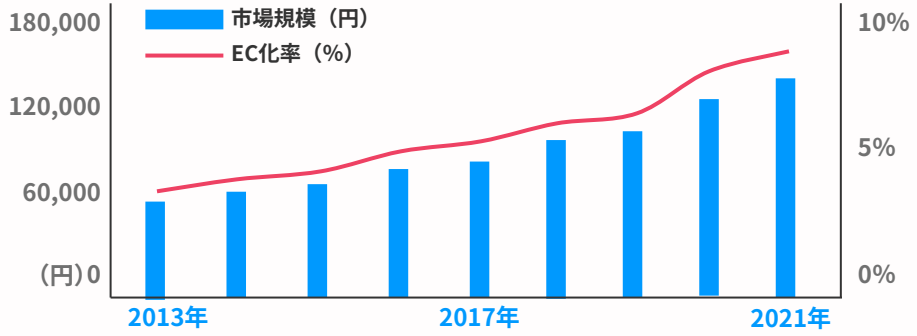
利用の増加＝配送量も増え、さらに配送員不足などが重なり
「物流費用」が年々増えているのが現状...

ポイント

コストを抑えたスピーディな対応と環境が必要

ネットショッピング利用世帯の割合（出典元：総務省「家計消費状況調査」）

物販系分野のBtoC-EC 市場規模およびEC化率の経年推移*



＊出典元：『令和３年度 電子商取引に関する市場 報告書』（経済産業省）

© 2024 NE inc.

ここまでのおさらい！

EC業界でますます重要となる3つのポイント

POINT 1

事業成長と業務負担が
比例しない状況が必要

P.6

POINT 2

ご購入者様に安心を提供できる
仕組みが必要

p7

POINT 3

時間や費用を抑えた
スピーディな対応と環境が必要

p8

© 2024 NE inc.

EC事業における物流の特徴

特徴＝消費者ニーズとして考える

近年の消費者ニーズに応えるために、
多くのEC事業者が**サービスを変化**させてきました

購入者

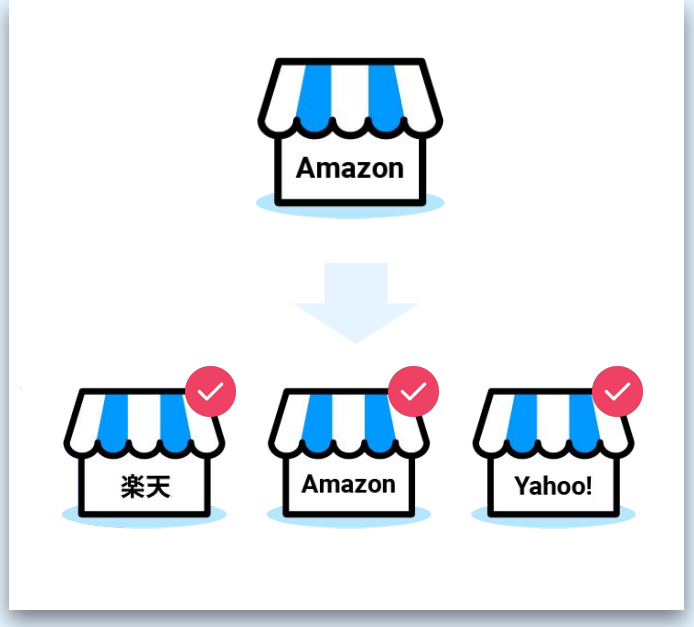
事業者

「よく見る商品だ！」	「注文したらすぐ届く！」	「気に入ったら購入！」
多店舗（モール）展開	**多様な配送サービス**	**少量梱包・多件数出荷**
楽天 / Amazon / Yahoo!	即日対応 / 翌日発送 / 送料無料 / 優良配送	
認知と販売機会の増加	**満足度の要因**	**細やかな対応力**

© 2024 NE inc.

❶ 多店舗（モール）展開

売上UPのためには、多店舗展開は避けられません
露出機会の増加や認知拡大など、消費者との繋がりを増やすことが定石です



様々なモールに展開することで、各モール会員の消費者を獲得しやすくなります。モールごとに異なる商材を出品する必要はなく、同じ商材、同じ商品点数であっても売上UPが期待できるのです。

一方で、多店舗展開のコストとして、店舗ごとの商品登録や在庫管理はもちろん、物流に関わる業務も増えてしまいます。

ポイント

多店舗の物流管理には一元管理を用いる企業が多い

© 2024 NE inc.

❷ 多様な配送サービス

各モールで配送サービスが多様にある中でも
商品選びにおいて**送料無料**や**配送の速さ**は、重視されてしまうことです

即日対応・送料無料が好まれる

ECを利用する人のうち、送料無料半数以上、配送の速さは41%の人が重視*

大前提必要なこと

送料無料、価格競争、早い配送、豊富な在庫

商品価格以外では物流がとても重視されます

＊出典元：『The Shopper Speaks: Online marketplaces are in growth mode』
（買い物客が語る: オンライン マーケットプレイスは成長モードにある）Digital Commerce 360

© 2024 NE inc.

❷ 多様な配送サービス

ココが大事！

各モールとの親和性が高い倉庫と連携することで、
受注から配送まで**円滑に進める仕組み**を作ることができます。

翌日・即日対応をするためのサービス

Rakuten SUPER LOGISTICS

楽天スーパーロジスティクス

ヤマト運輸

ヤマトフルフィルメント（YFF）

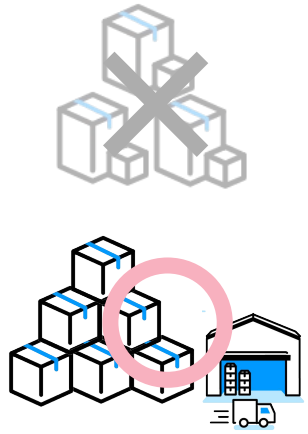
※ yahooショッピング

© 2024 NE inc.

❸少量梱包・多件数出荷

発送1件あたりの出荷点数を少なくし、配送先の数を多くする
ことで以下のメリット・デメリットがあります

ECで気軽な買い物が増え
事業者側の工夫が求められる



メリット

在庫の数を抑えつつ、商品の種類を増やすことが可能。
これにより、実店舗以上に品揃えの多い店舗にできる。

デメリット

少量多品種により管理方法が複雑になってしまうケースがある。

ポイント

管理さえ上手くできれば大きなメリットがある

© 2024 NE inc.

「EC事業における物流の特徴」まとめ

『物流』は非常に重要な役割！

最適化することで・・・

業務効率化・コスト減につながる！

ほかの業務への余力ができる！

今まで物流を重要視していなかった方は、
最新の手法や動向をチェックしつつ物流方法・管理方法の見直しを！

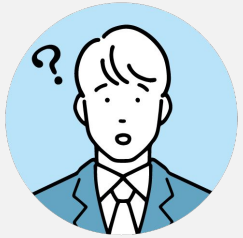
© 2024 NE inc.

物流を取り巻く最新状況

物流を取り巻く最新状況

2024年物流問題

2023年の最新動向



© 2024 NE inc.

2024年物流問題とは

2024年4月1日以降、

トラックドライバーの時間外労働時間に**年960時間**までの上限が

2023年4月を皮切りに

様々な問題を見越し大手運送会社が
送料の値上げを行った

今までと同じ対応がより難しくなっていく…

© 2024 NE inc.

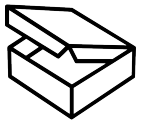
2023年の最新動向とは

ECショッピングを加速させるサービスが続々と登場

「クロネコDM便」「ネコポス」終了へ

参考｜「ネコポス」「クロネコDM便」終了 日本郵便ベースに切り替えへ ヤマトと日本郵政が協業

新配送サービス「コニポス」がスタート



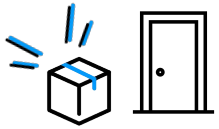
3辺合計 60cm以内
ポスト投函OK

参考｜EC通販の小荷物をポストイン配送 新サービス「コニポス」提供開始

Amazonが日本全国11カ所に配送拠点新設

参考｜Amazon、日本全国11カ所に配送拠点を新設

置き配の拡大



参考｜ライナフとイトーヨーカ堂が提携「スマート置き配」導入でオートロックマンションへの配送が可能に

© 2024 NE inc.

2023年の最新動向とは

ヤマト運輸「クロネコDM便」「ネコポス」終了へ

同サービスを**2024年1月31日に終了**すると発表。

これに代わるサービスとして、
日本郵便が取り扱う「ゆうメール」を活用した
新サービス「クロネコゆうメール（仮）」を、
ヤマト運輸で取り扱い開始する予定です。

ポイント

**ヤマト運輸と日本郵便は、協業体制を取ることで
2024年問題の解決に貢献する姿勢を見せています。**

参考｜「ネコポス」「クロネコDM便」終了、日本郵便ベースに切り替えへ　ヤマトと日本郵政が協業

© 2024 NE inc.

2023年の最新動向とは

新配送サービス「コニポス」がスタート

株式会社地区宅便が、**2023年7月1日**より提供開始

1個120円でEC荷物を各家庭のポストに届けるポストインは、定期購入商品（サブスク）の発送や、非接触での受け取りを希望する顧客にも適した配送スタイルとされています。

参考｜EC通販の小荷物をポストイン配送 新サービス「コニポス」提供開始

© 2024 NE inc.

2023年の最新動向とは

Amazonの配送拠点 全国50カ所以上へ

Amazonが、**2023年7月6日**に新設する拠点を発表

日本全国11カ所にデリバリーステーション（配送拠点）を新たに設置することを発表。この配送拠点拡充で、700万点以上の商品が翌日配送可能となり、置き配指定サービスも対応することで、再配達率の削減も期待されています。

参考｜Amazon、日本全国11カ所に配送拠点を新設

© 2024 NE inc.

2023年の最新動向とは

置き配の拡大

共働き世帯や単身世帯の増加により、ネットスーパーの需要が拡大。リモートワークから通勤へ戻す企業の変化もあり、**配送サービス各社で、置き配サービスが続々と取り扱い開始**

NEWS

1 イトーヨーカ堂がライナフと提携、オートロックでも置き配が可能に

参考｜イトーヨーカ堂がライナフと提携、オートロックでも「置き配」が可能

2 ヤマト運輸が「マルチ・デジタルキー・プラットフォーム」 を導入。オートロック・マンションでも置き配が可能に

参考｜「マルチ デジタルキー プラットフォーム」を開発

3 ヤマト・KDDIなどが連携して、自動車のトランクを置き配先とする実証実験を開始

参考｜ヤマト・KDDIなどが連携して、自動車のトランクを置き配先とする実証実験を開始

4 その他、PUDOステーション（宅配便ロッカー）や個人宅の宅配ボックスなど、不在時の受け取り方法が拡充

参考｜PUDOステーション

© 2024 NE inc.

「物流を取り巻く最新状況」まとめ

送料の値上げをはじめ、様々な物流問題がある一方で、今後も**EC事業は拡大**し、国内外問わず多様なサービスが加速度的に広がり、**より一層スピーディ・安全な対応を求められることが予想されます。**
企業によっては、現状の物流体制ではまかなえないケースも少なくないため、新しい配送サービスや物流方法の検討が必要となるでしょう

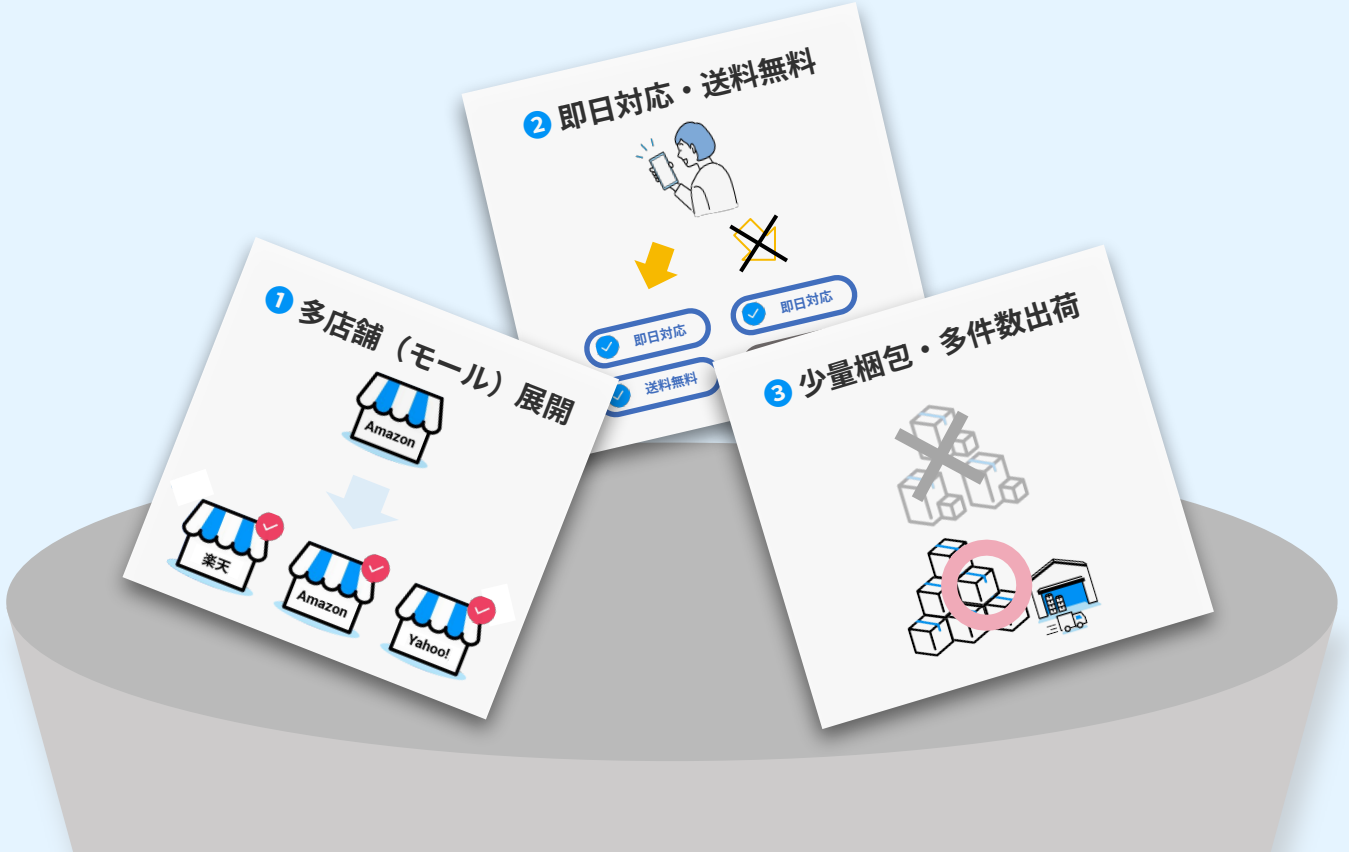
これからのEC業界

- **コロナ禍の需要は落ち着くも、ECショッピング全体は加速・拡大**
- **今にも増して、スピーディで安全な対応が求められる**
- **新しい配送サービスや物流方法を検討する必要がある**

© 2024 NE inc.

これからの『EC物流』の課題

前述のとおり、近年のEC物流では**「多店舗展開 」「即日対応・送料無料」「少量梱包・多件数出荷」**が当たり前になりつつありますが、従来通りのECシステムでは管理が非常に複雑になるため、これらすべてに対応するのは難しいのが現状です



ネクストエンジンなら、解決できます！

CASE STUDY

MARSHAL株式会社

多モール展開で受注管理・発送業務の工数が膨大に！アプリ導入で人員コスト大幅削減、戦略的組織に変化

楽天市場をはじめ、DeNAショッピング、MakeShopなど、多モール展開しているなかで、1日に数百件の受注・発送管理業務が発生。受注業務や発送業務の管理工数が膨れ上がり、膨大な作業も発生していました。

そういったなか、FBAマルチチャネルサービスを利用した、ネクストエンジン x「SHIPPInno（シッピーノ）」の存在を知り、これらを導入すれば現状の業務を大きく改革できると確信し導入を決断しました。

Before / 導入前の課題

- 1日に数百件の受注・発送管理業務が発生
- 基幹システムへの取り込みから出荷指示作業、ピッキング・梱包作業など膨大な作業
- 注管理業務・発送業務に対して10人近くの人員が専属の業務として行っていた

After / 導入後の効果

- パートタイマーのスタッフ1名の1日5時間程度の作業で完了
- 人員・時間に余裕ができたことで、より戦略的な仕事に注力できる組織へ

詳しい事例内容はこちら ›

MARSHAL株式会社

業 種

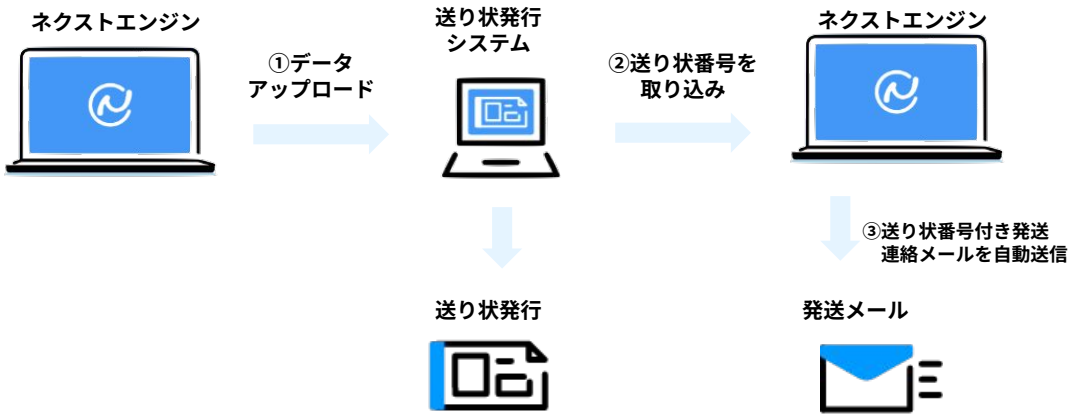
ホビー・日用雑貨

ネクストエンジン x「SHIPPInno（シッピーノ）」のような効率的なシステムは、今後間違いなく標準となる仕組みだと思います！

業界の先駆けとして今回の導入に成功できたのはうれしく思います。

主な機能（送り状連携について）

各社の送り状ソフトと連携！　各種送り状を素早く確実に発行



面倒なコピーペーストは不要！

- **全ての店舗の送り状発行データを一括出力**
- **送り状番号付きの発送連絡メールを自動で送信**
- **モール側への出荷実績も自動反映**※特定モールのみ

送り状連携システムの特徴

すべての送り状発行システムと連携可能

主要な送り状発行システムはもちろん、CSVデータが利用できるすべての送り状発行システムと連携が可能です。送り状作成・番号の連絡を効率的に行うことができます。

モールの管理画面へ送り状番号の自動反映も可能

RMS・セラーセントラル・ストアクリエイターPro・Wow!managerへ、送り状番号の自動反映・受注ステータスを完了にすることも可能です。※API連携が必要です

ポイント

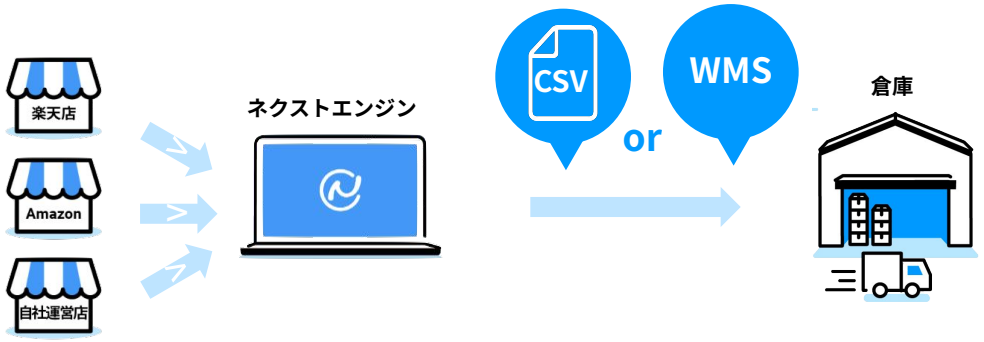
送り状発行から発送連絡まで
スムーズに行うことが可能です

© 2024 NE inc.

対応送り状発行システム・詳細はこちら

主な機能（倉庫連携について）

自社・外部倉庫と簡単連携　受注処理 →出荷までをスピーディーにします



出荷依頼データ（CSV）を委託先の倉庫に渡すだけ！
自動出荷に対応している倉庫管理（WMS）はそれすら不要！

- 倉庫への出荷指示や、**細々したやりとりがなくなる**
- 商品のキャンセル、返品による**在庫数調整が怖くない**
- 入庫による在庫数の変化を**確認する必要がなくなる**

倉庫連携の特徴

倉庫・WMSに関わらずスムーズな出荷が可能

ネクストエンジンはすべての倉庫・WMSとの連携が可能です。出荷指示をスムーズに行えます。

倉庫へ商品を入庫した際の在庫数の変動も自動で管理

商品入荷処理も効率よく行うことが可能です。倉庫側の入荷実績をネクストエンジンに反映させると、EC店舗の在庫数も自動で更新されます。

ポイント

倉庫と連携することで
素早くミスなく顧客に商品をお届けできます

© 2024 NE inc.

その他の主な機能・動作環境

6,000社※を超える業務フローにマッチする機能で、**ネットショップ運営をバックアップ**します

※2024年4月末時点

機能一覧　ネクストエンジンは ECの業務効率化に必要な機能が 200以上あります

商品登録/管理
変換、変更作業も簡単に。
同じ作業は一度でOK！

受 注
受注伝票のステータスなど
とことん自動化！

仕入/発注
在庫に応じて発注を自動計算！
発注書出力も可能

決済連携
決済処理を自動・効率化。
決済業務の抜け漏れも削減！

メールの自動送信
受注・出荷・フォロー連絡まで
自動で送信。個別送信も可能！

在 庫
各モール・カートの在庫を自動
更新！販売機会も最大化できるシステム

POS連携
実店舗とECショップを連携し
売上と在庫の見える化を実現

分 析
月別、店舗別の利益を把握。
様々な角度から分析を実施！

すべての機能が無料体験でお試し可能です！

© 2024 NE inc.

CASE STUDY

株式会社パピー

属人化したEC運営から誰でも使えるシステム導入へ！コロナ禍での売上急増も乗り切る

注文数が増えてきたことで一人でのEC事業運営が間に合わなくなり、一元管理ツールの導入を検討。
さまざまなサービスを比較し、パンフレットや会社説明資料がシンプルでスマートだったネクストエンジンに決定しました。
EC事業では1日たとえ1件あたり数十秒でも出荷作業が変わると積みあがるととんでもない負担になります。
コロナ禍で月商が60倍になり、早めにネクストエンジンを導入していたから乗り切れましたが、もし導入していなかったら・・と想像すると恐ろしいです。

Before / 導入前の課題

- 注文数が増え一人でのEC事業運営が困難に
- EC慣れしていない世代に対応を任せたいが抵抗感がある

After / 導入後の効果

- EC慣れしていなくても数か月でシステムに慣れ使いこなせるように
- コロナ禍で月商が60倍になるもあらかじめネクストエンジンを軸にEC業務の一連の運用を構築していたことで慌てずに乗り切ることができた

詳しい事例内容はこちら ›

株式会社パピー

業 種

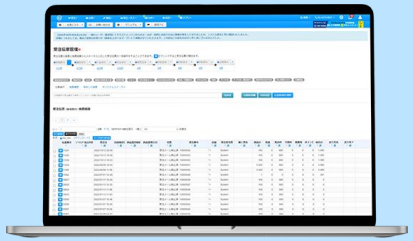
ホビー・日用雑貨

ネクストエンジンの導入は、売り上げもそこまで大きくなく、商品数も多くない、イレギュラーな対応も入らない初期のタイミングがおすすめです！

売上が爆発する前の最初の頃に導入した方がいいと知り合いのECをやっている人にはどんどん勧めています。

ネクストエンジンを詳しく知りたくなったら

EC運営の業務に潜む課題の解決策など
お役立ち情報を多数掲載！



ネクストエンジンの
サービスページはこちら

在庫拠点や管理業務について
現在の配送の見直しなど
お気軽にご相談ください。

お問合せはこちら

NEXT ENGINE